

職員による自己評価

A環境面

- 適切である、どちらともいえない意見が半々でした。高校生が増えてきてスペースが狭く感じるようになってきているが、ハード面を整備したことで昨年度よりも狭いといった意見は減っていた。

B児童への支援内容

- 適切な支援を行っている意見が多かった。
- 活動後の振り返りは、できていないといった意見が多くみられた。
- 室内での活動の幅を広げたい。

C関係機関との連携

- 学校、相談事業所などとは連携が取れている。
- 併用先や卒業後の進路先との連携が足りていない意見が多かった。

D保護者への説明責任・信頼関係

- インスタグラムやピースだよりなどで情報提供を行っている。
- 帰りの送迎時に、その日の様子以外にも、様々な情報の共有を行っている。

E非常対応

- 定期的に避難訓練を行っている。(年4回程度)
- マニュアルはあるが、周知されていないものもある。

保護者による評価

A環境面

- やや狭いと感じることがある。
- 女性の常勤職員が少ない。

B児童への支援内容

- 家族では行きにくい場所に活動で行ってもらえるのが助かる。
- 電車外出など社会性を養う活動を行ってくれる。
- 活動内容を工夫してくれている。
- 夏季の水遊びの回数を増やしてほしい。
- 小学生、中高生など年齢を考慮してプログラムを考えてほしい。

C事業所からの情報

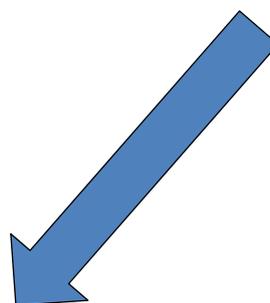
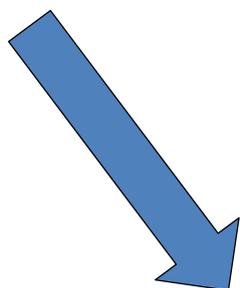
- インスタグラムやピースだよりなどで行ってくれる。
- 帰宅時の引継ぎの際に丁寧に引継ぎを行ってくれる。
- おおむね満足されていると意見が多かった。

D非常対応

- 避難訓練をやってくれている。
- わからない

Eその他

- 送迎のお迎え時間にバラつきがあるので、大体でよいので時間を教えてほしい。



事業所内での分析

【共通点】

- 様々な活動を提供している、子どもの状況に応じて活動を提供している。
- インスタグラムやピースだよりなどでの情報発信。
- 非常時の訓練を行っている。
- 適切なスペースを確保できている。

【相違点】

- ペアレントトレーニングを行えているに関して、事業所向けのアンケートでは半々だったが、保護者向けのアンケートでは出来ているがほとんどだった。
- 様々な活動を行っている事は事業者、保護者ともに共通認識を持っていたが、既存の活動回数を増やして欲しい意見や、新しい活動を行ってほしいと言った意見も見られた。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- 様々な活動を行っている。
- 社会性や集団性を考慮した活動提供を行っている。
- 丁寧な引継ぎを行えている。

事業所の改善点

- 送迎の時間についてのご指摘をいただいたが、曜日や学校の有無で時間が大きく変わってくる為、おおよその時間の提示をさせていただく。
- 室内活動の幅を広げる。
- 常勤、パート職員問わずに、様々な事の情報共有を行えるようにする。
- 非常時対応などの、保護者への共有が足りない部分があった。活動だけでなくそういった部分の情報の共有も行っていく。

事業所の改善への取り組み

- 2ヶ月に1度、職員全体の会議を行う。
- 常勤職員に限らずパート職員にも活動の立案ができるように意見を聞く時間を設ける。
- 送迎のルート、お迎え時間を保護者と共有する。
- ミーティングの時間を延ばして、前回の振り返りも行う。

事業所名 ピース和田町
担当者 所長 原 駿介